

7月9日（火）に、全校研修「授業に生かせる個別の指導計画について」を実施しました。講師は、四天王寺大学 教育学部 教育学科 小学校教育コースの長澤洋信先生です。



今回の研修は、個別の指導計画における「自立活動」に焦点をあわせて講義をして頂きました。

まず、個別の指導計画作成における課題として、「本当に児童生徒の実態に応じた目標が立てられているか」、「さまざまな課題の中から指導すべき課題を精選しているか」、「自立活動の区分と関連づけているか」、といった説明がありました。その上で、「実態把握⇒課題整理⇒目標と指導内容の設定」といった個別の指導計画作成の手順を説明して頂きました。

研修の後半には、ADHD 児のアニメを観て、課題整理や学習内容を設定するワークを行いました。児童と保護者が感じている困り感やニーズを汲み取り、今指導すべき課題は何なのかを実態や将来の姿などから考察しました。そして、どのような手立てを講じるのかについて、さまざまな角度から意見交換することができました。

また、研修の最後には、学校生活の中で目標を常に意識できるように、教室内に児童生徒が自分たちの分かる言葉で自立活動に関する目標を掲示するというワンポイントアドバイスがありました。単純なことかもしれませんが、「なるほど」と思える方法でした。

今回講義して頂いた課題やポイントなどについて理解を深め、授業に生かせる個別の指導計画の作成に努めていきたいと思えます。